

人と地球に優しい環境衛生管理



ダクト清掃

食品工場の総合衛生管理

アスベスト対策

微生物検査・測定



衛生設備メンテナンス

工場設備メンテナンス

建築・設備工事

ベストコントロール



赤門ウイレックス株式会社

本部：愛知県長久手市戸田谷 1323 番地

TEL：0561-63-0789 (代)

全国対応
全24拠点

詳しくはWEBへ



今9月期前半 計画通りの着地

赤門ウイレックス

衛生管理技術を発信

FOOMA、インターフェックスに出展

総合衛生管理サービスを提供する赤門ウイレックス(社長・山田寛也氏、本部・愛知県長久手市戸田谷1323)の2024年9月期上半期業績は、アスベスト(石綿)対策、食品製造工場の設備維持管理、厨房・衛生設備メンテナンス、クリーンエリア環境管理、空調システムメンテナンス等の主力各事業が順調な推移を示し、計画通りの着地となった(山田寛也社長)とする。案件の中には、衛生設備の修理・交換、空調システムのメンテナンス等、例年にも増してまとまったボリュームの案件受注が来ている

に加えて、北陸・東海といった地域に広がり、特に、特設会場では、人員の問題や出張費に掛かる日数などで、定期訪問な

のが今期前半の特徴といえる。

同社は昨年10月、東京技術センター(東京都足立区)で、空気清浄技術セナター(設備・環境衛生)を相次いで開業し、機動力の向上と徹底した安全教育の実践(取組)を推進し、技術本部(長・成田一弘氏)が可能なことも、業績の支えとなった。

今期前半の業績は、プロモーションでは、HVAC&R JAPAN 2024(2024年1月30日〜2月2日、東京ビッグサイト)に出展し、「空調ダクトクリーニング」(局所排気ダクトクリーニング、アスベスト事前調査・対策工事)、「空調パリエーション」等、同社ならではのソリューションを訴求した。

同社の空調ダクトクリーニングは「IAQ (Indoor Air Quality) エアークリーニング」という独自の工法。とくに独自の吹出口やダクトに取り付けた点検口である「IAQポート」を通じてダクト内に侵入し、圧縮空気をエアークリーニングの先端が動く動き、ダクト内部を強く叩くことでダクト内に堆積している粉塵を舞い上げ、これを集塵機で吸引・回収する仕組み。展示ブースではエアークリーニングがダクト内で動作

する様子を再現し、来場者の目を引き付けた。成田部長は「HVAC&R JAPAN 2024は、安全で良質な製品を提供するためには、工場全体があるべき姿を維持している状態の中で、生産が行われる必要がある」との観点から、給排気設備のメンテナンスの重要性をテーマとする展示のほか、ダクトクリーニングの工法紹介、関連サービスのパネル展示等を行う。出展ブースは東4ホール40105。

期間中、出展者によるプレゼンテーションセミナーが開かれるが、同社は6月7日午前10時から15時15分まで東1ホール入ロセミナー会場で「必修! 工場の施設・設備担当者が知るべき石綿のリスクと法改正」と題した講演を行う。講師は同社執行役員管理本部長・平井幹人氏。このセミナーでは「工場施設、設備の中に石綿含有の建築材料がある場合、どのようなリスクがあるか、法的に必要となる措置、設備担当者として知っておくべき石綿の基礎知識、必要最小限の作業」を具体的に解説する。

さらに「インターフェックス2024」では、空調設備を中心としたクリーンルームの維持管理に関するソリューション(空調パリエーション)の発表・機器展示、品質管理サポート/書類作成サポート/緊急対応サポート)を披露する。